

確かな学力向上推進プラン

令和4年8月現在
江戸川区立南條崎小学校

学力向上に向けた目標値														
成果指標：都学力調査における到達目標値を超える割合										全国学力調査における正答数70%以上の児童の割合				
教科	平成30年度 結果		平成31年度 目標値		平成31年度 結果		令和2年度 目標値		令和2年度 結果	令和3年度 目標値	令和3年度 結果	令和4年度 目標値	令和4年度 結果	
国語		66.0%	20問	68%	18問	63.4%	18問	67%	より 中 止 の 影 響 に	国語	国語	○国語 50%	○国語 52.2%	
社会		67.7%	22問	70%	18問	66.4%	18問	65%		%	50%			54.3%
算数		50.3%	31問	52%	26問	56.2%	26問	60%		%	算数	算数	50%	○理科 59.5%
理科		65.5%	20問	68%	19問	51.8%	19問	52%		%	50%	59.2%	50%	46.8%

学力向上に向けた取組							
論点	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	成果指標及び数値目標
論点1 基礎的・基本的事項の定着	○スタディプラスの実施 ○算数科での習熟度別少人数指導	○スタディプラスの実施 ○算数科での習熟度別少人数指導	○スタディプラスの実施 ○算数科での習熟度別少人数指導	○スタディプラスの実施 ○算数科での習熟度別少人数指導	○スタディプラスの実施 ○算数科での習熟度別少人数指導	○スタディプラスの実施 ○算数科での習熟度別少人数指導	・算数の勉強は好きですか。 肯定的な回答 76%以上
論点2 学習規律の徹底	○ノートの書き方のきまりを徹底 ○机上の整理、話し方・聞き方のきまりの提示・徹底	○ノートの書き方のきまりの徹底 ○机上の整理、話し方・聞き方のきまりの提示・徹底	○ノートの書き方のきまりの徹底 ○机上の整理、話し方・聞き方のきまりの提示・徹底	○ノートの書き方のきまりの徹底 ○机上の整理、話し方・聞き方のきまりの提示・徹底	○ノートの書き方のきまりの徹底 ○机上の整理、話し方・聞き方のきまりの提示・徹底	○ノートの書き方のきまりの徹底 ○机上の整理、話し方・聞き方のきまりの提示・徹底	・学校の規則を守っていますか。 肯定的な回答 85%以上
論点3 生活習慣の確立	○家庭学習・生活週間でのカードの活用と、保護者への働きかけ	○家庭学習・生活週間でのカードの活用と、保護者への働きかけ	○家庭学習・生活週間でのカードの活用と、保護者への働きかけ	○家庭学習・生活週間でのカードの活用と、保護者への働きかけ	○家庭学習・生活週間でのカードの活用と、保護者への働きかけ	○家庭学習・生活週間でのカードの活用と、保護者への働きかけ	・朝食を毎日食べていますか。 肯定的な回答 93%以上
論点4 家庭学習の指導の充実	○保護者会で家庭学習の意義について説明 ○音読、読書、漢字、計算等の宿題の実施・確認	○保護者会で家庭学習の意義について説明 ○音読、読書、漢字、計算等の宿題の実施・確認	○保護者会で家庭学習の意義について説明 ○音読、読書、漢字、計算等の宿題の実施・確認	○保護者会で家庭学習の意義について説明 ○音読、読書、漢字、計算等の宿題の実施・確認	○保護者会で家庭学習の意義について説明 ○音読、読書、漢字、計算等の宿題の実施・確認	○保護者会で家庭学習の意義について説明 ○音読、読書、漢字、計算等の宿題の実施・確認	・家で学校の宿題をしていますか。 肯定的な回答 83%以上
論点5 言語に関する指導の充実	○意図的に書かせる活動を各教科で実施 ○少人数での話し合い・学び合いを各教科で実施	○意図的に書かせる活動を各教科で実施 ○少人数での話し合い・学び合いを各教科で実施	○意図的に書かせる活動を各教科で実施 ○少人数での話し合い・学び合いを各教科で実施	○意図的に書かせる活動を各教科で実施 ○少人数での話し合い・学び合いを各教科で実施	○意図的に書かせる活動を各教科で実施 ○少人数での話し合い・学び合いを各教科で実施	○意図的に書かせる活動を各教科で実施 ○少人数での話し合い・学び合いを各教科で実施	・話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりできていますか。 肯定的な回答 67%以上
論点6 教員の学習指導力向上	○日常的な教員同士の授業参観の実施 ○ミニ研修での学び合い	○日常的な教員同士の授業参観の実施 ○ミニ研修での学び合い	○日常的な教員同士の授業参観の実施 ○ミニ研修での学び合い	○日常的な教員同士の授業参観の実施 ○ミニ研修での学び合い	○日常的な教員同士の授業参観の実施 ○ミニ研修での学び合い	○日常的な教員同士の授業参観の実施 ○ミニ研修での学び合い	・算数の授業の内容はよく分かりますか。 肯定的な回答 87%以上

教科	各教科の授業改善に向けた指導の重点					
	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
国語	・正しい読み書きできるよう、毎日の家庭学習プリントを活用して、音読やひらがな、カタカナ、漢字の反復練習を行い、基礎基本の定着を図る。	・正しい読み書きができるよう、毎日の家庭学習プリントを活用して、音読や漢字、言葉のきまりの反復練習を行い、基礎基本の定着を図る。	・教科書の音読や漢字の読み書きについて反復練習をさせて、基礎基本の定着を図る。	・教科書の音読や漢字の読み書きについて反復練習をさせて、基礎基本の定着を図る。 ・文末表現や接続語の基礎的な理解の定着を図る。	・文章読解（物語文・説明文）では教材の特性に合わせた構造読みができるようにする。 ・言葉の意味理解に重点を置いた漢字・言葉の指導を行う。	・当該学年までの漢字を読み、文や文章の中で使う。 ・敬語、比喩の表現、語句の構成の基礎的な理解の定着を図る。
社会			・地図の見方や地図記号について定着を図る。 ・地域や江戸川区の特色について理解の定着を図る。	・東京都の地形や特徴について理解の定着を図る。 ・水やごみなどの環境に目を向け、処理の流れの理解を図る。	・我が国の国土の地理的環境の特色や産業の現状についての理解の定着を図る。 ・統計などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べる技能を身に付ける。	・歴史の事象や人物、政治についての理解の定着を図る。 ・資料に読み取りについて基礎基本の定着を図る。
算数	・たし算やひき算の基本的な考え方や計算技能について、毎日の家庭学習プリントを活用して、反復練習をさせ、定着を図る。	・足し算やひき算、筆算やかけ算の計算のきまりを理解し、活用できるよう、毎日の家庭学習プリントで反復練習をさせ、定着を図る。	・基本的な計算技能についてドリルやプリントを活用して、反復練習をさせ、基礎基本の定着を図る。	・基本的な計算技能についてドリルやプリントを活用して、反復練習をさせ、基礎基本の定着を図る。	・問題場面を数直線図や関係図と式を結びつけながらイメージ化を図り、式の意味を理解させる。 ・小数、分数、面積、時間などの量感を育む活動を行う。	・整数・少数・分数の概念を理解し、計算の決まりに従って、計算できるよう、繰り返し練習し、基礎基本の定着を図る。
理科			・観察、実験における予想、結果、考察について自分の考えを比較し、表現する力を育成する。	・観察、実験における予想、結果、考察について自分の考えを関連付けて、表現する力を育成する。	・問題に対する自分の予想を立て、条件制御しながら実験観察を行い、結果から科学的に妥当な考えを協同的に作り出すことができるようにする。	・予想・仮説を立て、実験観察を行い、結果から科学的な考えを作り出し、自分の考えが伝わるように表現を工夫する力を育成する。
生活	・教科書を参考にしながらも、本校の児童にとって、必要感のある学習活動を設定することで、自ら学ぶ力を効果的に育てていく。	・栽培活動や、地域の方との交流を通して、自然とかわり、皆で活動する楽しさに気付けるようにする。				
音楽	・意識的に歌を歌う機会や楽器を演奏する機会を多く設定することに加えて、他者の歌や演奏を鑑賞する機会を多く設定することで、感性や表現力を養う。	・意識的に歌を歌う機会や楽器を演奏する機会を多く設定することに加えて、他者の歌や演奏を鑑賞する機会を多く設定することで、感性や表現力を養う。	・幅広い能力を身に着けるため、限定した楽器の演奏に限らず、鍵盤楽器や打楽器など使った様々な音楽活動を取り入れる。	・歌唱や器楽の演奏の場を多く設定するとともに、読譜力を身に付けさせるようにし、主体的に音楽活動に取り組む姿勢を育成する。	・強弱、速度、拍など音楽の諸要素についての知識を演奏活動で活用する場面を多く設定し、表現力を養う。	・音楽活動において児童の思いや意図を実現するための手だてを具体的に指導することで、主体的に表現する力を身に付けさせる。
図画工作	・意識的に絵を描く機会や工作する機会を多く設定することに加えて、他者の絵や立体作品を鑑賞する機会を多く設定することで、感性や表現力を養う。	・意識的に絵を描く機会や工作する機会を多く設定することに加えて、他者の絵や立体作品を鑑賞する機会を多く設定することで、感性や表現力を養う。	・材料などから豊かな発想をし、手や体全体を十分に働かせるような活動を通して、色彩感覚や造形感覚を身に着けさせる。	・幅広い材料や技法を経験させ、形や色などの造形的な特徴を生かしながら表し方を考えて表現する力を育成する。	・材料や用具などの特徴をとらえ、想像力を働かせて発想し、主題の表し方を構想し、創造的に表現したり鑑賞したりする力を育成する。	・前学年までの材料や用具などの経験や技能を総合的に生かしながら、自分の意図や思いに合わせて表現する力を育成する。
家庭					・衣食住や家族の生活に関する実習を多く取り入れ、日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それに係る技能を身に付けさせる。	・前学年までの実習の経験を活かし、家庭生活への関心を高め、生活をよりよくしようと工夫する態度を養う。
体育	・きまりを徹底することで、運動遊び楽しさに触れさせることができるようにする。	・きまりを徹底し、ペアやグループで活動させることにより、運動遊び楽しさに触れさせることができるようにする。	・整列、準備、片付けなどのルールの徹底を図ることで、運動量を確保し、体力の向上を図る。	・整列、準備、片付けなどのルールの徹底を図り、グループで活動に取り組みさせることで、運動量を確保し、体力の向上を図る。	・各種の運動の特性に応じた基本的な技能、安全に留意する態度を育成する。 ・自己の課題と記録への挑戦する態度を育成する。	・各種の運動の特性に応じた基本的な技能、安全に留意する態度を育成する。 ・自己の課題と記録への挑戦する態度を育成する。